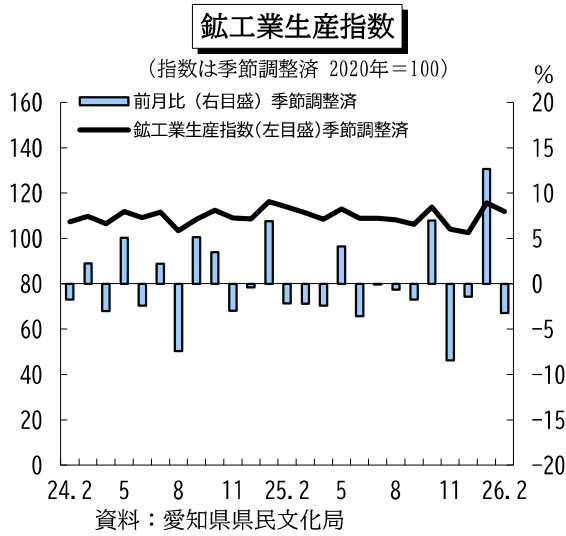


あいち経済の動き（月報）

（2026年2月分）

生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比3.2%の低下



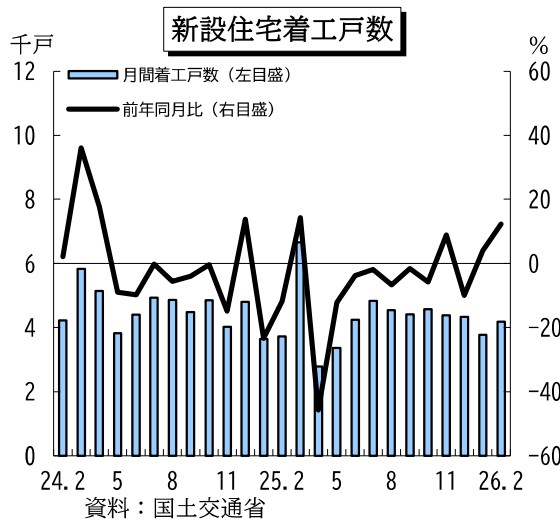
2025年12月	2026年1月	2月
→	↗	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比で、輸送機械工業が6.3%低下するなど、全体で3.2%の低下となりました。

また、鉱工業生産指数（原指数）は、前年同月比で、輸送機械工業が2.9%低下するなど、全体では1.6%の低下となりました。

投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比12.3%の増加



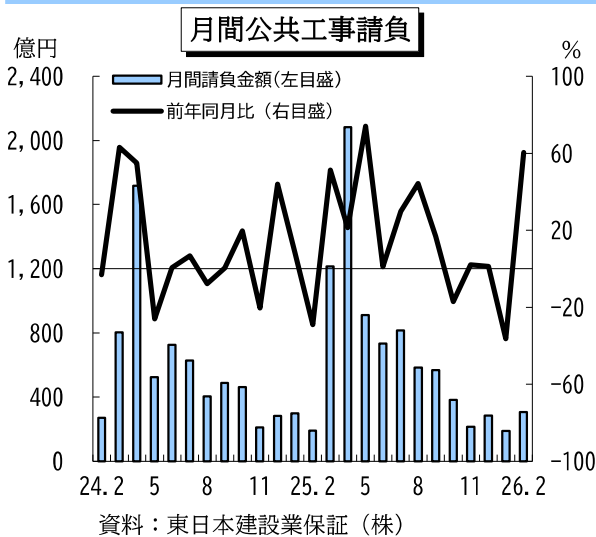
2025年12月	2026年1月	2月
↘	↗	↗

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数の前年同月比は、12.3%増となり、2か月連続で増加となりました。

主な内訳は、貸家が23.5%、持家が9.2%増加し、分譲住宅が3.1%減少となっています。

投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比60.4%の増加



2025年12月	2026年1月	2月
→	↘	↗

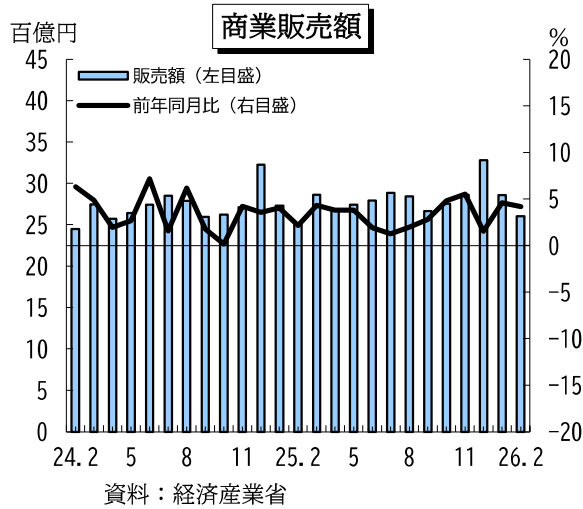
主な指標の動き

公共工事の月間請負金額の前年同月比は、60.4%増となり、2か月ぶりに増加となりました。

月間請負件数の前年同月比は、6.8%増となり、5か月ぶりに増加となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

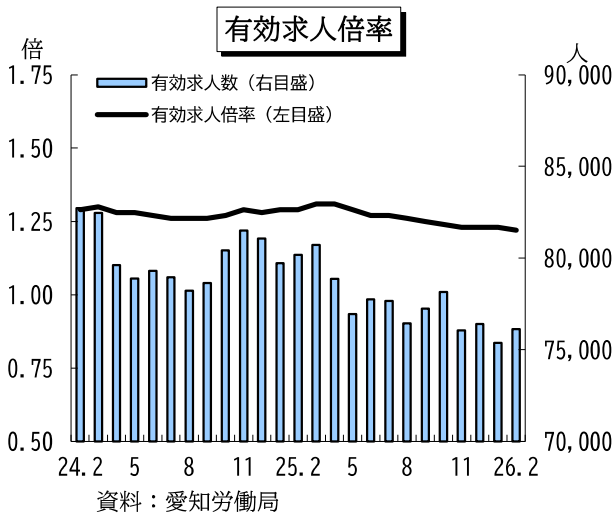
個人消費：商業販売額は、前年同月比4.2%の増加



2025年12月	2026年1月	2月
➡	➡	➡

主な指標の動き		
<p>スーパーなどの商業販売額の前年同月比は、4.2%増となり、54か月連続で増加となりました。</p> <p>主な内訳として、スーパー販売額の前年同月比は、飲食料品が1.5%増となるなど、全体では1.3%の増加となりました。</p>		

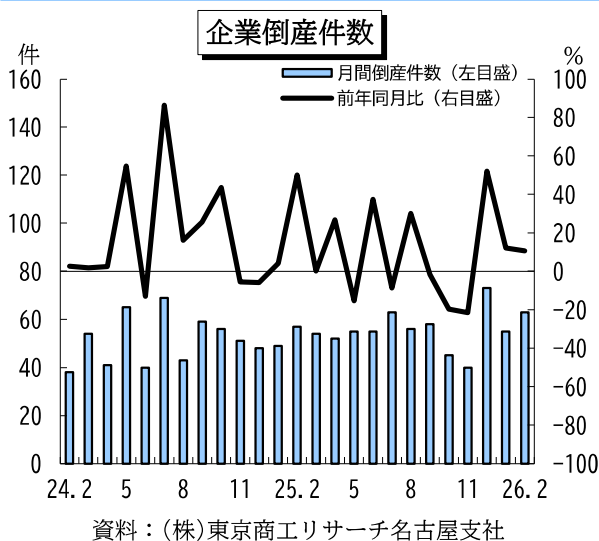
雇用：有効求人倍率は、1.22倍



2025年12月	2026年1月	2月
➡	➡	➡

主な指標の動き		
<p>有効求人倍率は、1.22倍と3か月ぶりに低下となりました。</p> <p>有効求人数の前年同月比は、5.1%減となり、21か月連続で減少となりました。</p>		

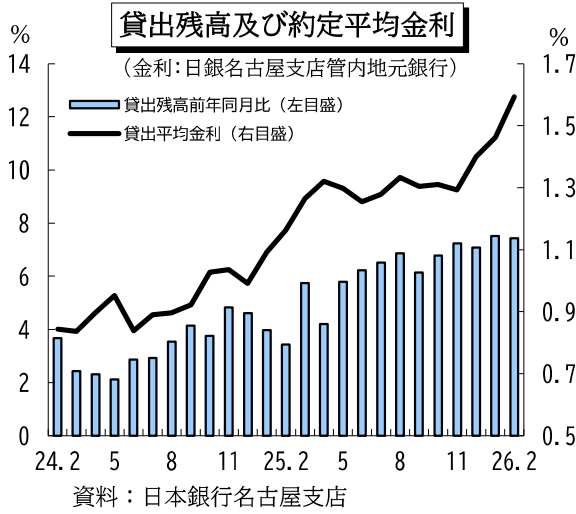
企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比10.5%の増加



2025年12月	2026年1月	2月
↘	↘	↘

主な指標の動き		
<p>企業の月間倒産件数は63件となりました。また、前年同月比では10.5%増となり、3か月連続で増加となりました。</p> <p>業種別にみると、倒産件数の多い順に、サービス業他が21件、建設業が14件、製造業が12件、小売業が9件、運輸業が5件、卸売業が2件となっています。</p>		

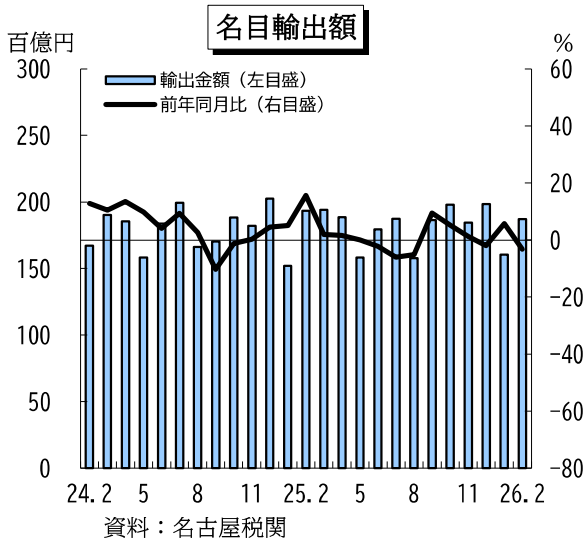
企業（金融）：貸出残高は、前年同月比7.4%の増加



2025年12月	2026年1月	2月
↗	↗	↗

主な指標の動き		
<p>貸出残高の前年同月比は、7.4%増となり、45か月連続で増加となりました。</p> <p>貸出金利は、前月から0.131ポイント上昇し、3か月連続で上昇となりました。</p> <p>※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。</p>		

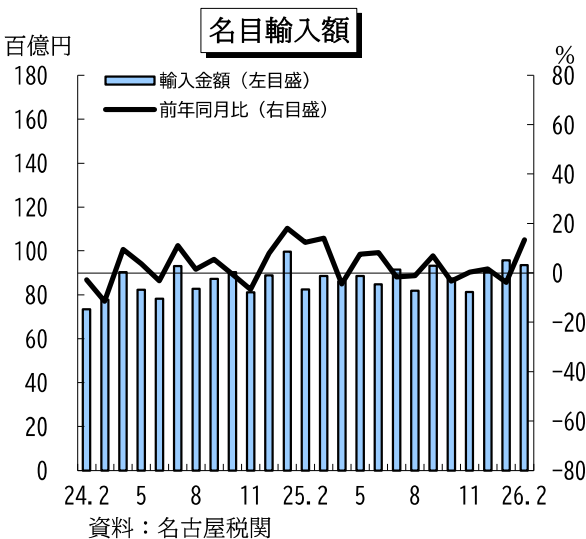
貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比3.2%の減少



2025年12月	2026年1月	2月
↘	↗	↘

主な指標の動き		
<p>名目輸出額の前年同月比は、3.2%減となり、2か月ぶりに減少となりました。</p> <p>内訳を地域別にみると、北米向けの輸出が10.9%、アジア向けが5.5%減少し、EU向けが13.8%の増加となりました。</p>		

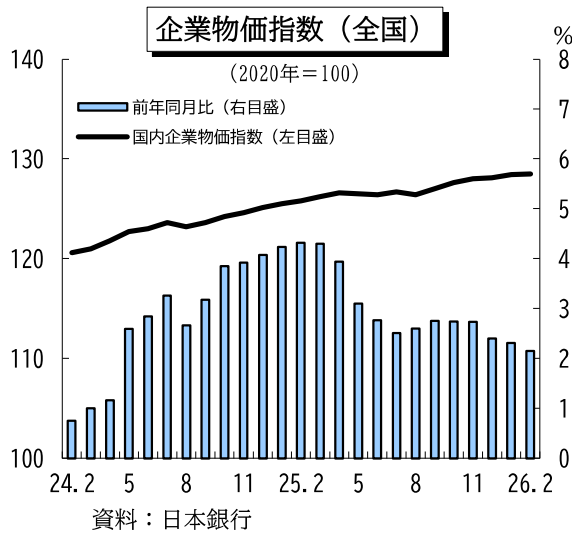
貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比13.4%の増加



2025年12月	2026年1月	2月
→	↘	↗

主な指標の動き		
<p>名目輸入額の前年同月比は、13.4%増となり、2か月ぶりに増加となりました。</p> <p>内訳を地域別にみると、北米からの輸入が45.5%、アジアからは23.3%増加し、EUからは20.9%の減少となりました。</p>		

物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比2.1%の上昇



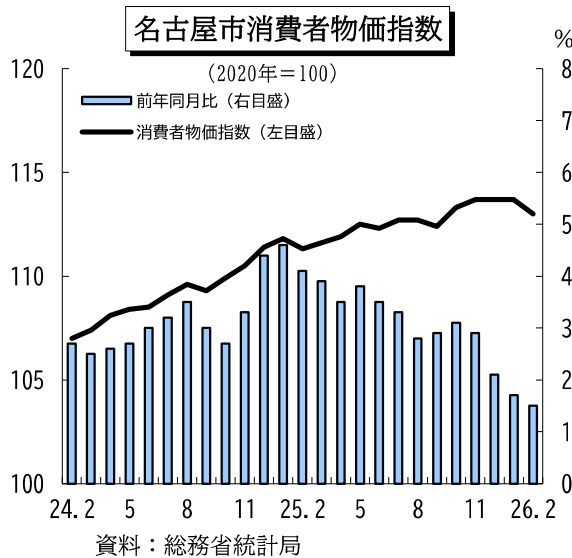
2025年12月	2026年1月	2月
↗	↗	↗

主な指標の動き

国内品の企業物価指数（2020年=100）は、128.5となりました。また、前年同月比は2.1%上昇し、60か月連続の上昇となりました。

前月比では0.1%の上昇となりました。

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比1.5%の上昇



2025年12月	2026年1月	2月
↗	↗	→

主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数（総合）（2020年=100）は、113.0となりました。また、前年同月比は1.5%上昇し、52か月連続の上昇となりました。

前月比では0.6%の低下となりました。

（注）矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	2025年 9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月
生産	⇒	▲	▼	⇒	▲	→
投資(住宅建設)	⇒	▼	▲	▼	▲	▲
投資(公共工事)	▲	▼	⇒	⇒	▼	▲
個人消費	→	→	▲	→	→	→
雇用	→	→	→	→	→	→
企業(倒産)	▲	▲	▲	▼	▼	▼
企業(金融)	→	▲	▲	▲	▲	▲
貿易(輸出)	▲	▲	→	▼	▲	▼
貿易(輸入)	⇒	▼	⇒	⇒	▼	▲
物価(企業物価)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
物価(消費者物価)	▲	▲	▲	▲	▲	→
▲	5	6	6	3	6	5
→	3	2	2	2	2	4
▼	0	3	1	3	3	2
⇒	3	0	2	3	0	0

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

使用データ		矢印判定基準	
生 産	愛知県県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」/ 生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外	
投 資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」/新設住宅着工戸数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」/ 月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
個人消費	経済産業省「商業動態統計」のうち「業態別、 都道府県別、商品別販売額等」 /商業販売額合計	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外	
雇 用	愛知労働局「最近の雇用情勢」/有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は 有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2 ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は 有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2 ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外	
企 業	倒 産	㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産 動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同比の対3か月前比プラス →：上記以外
	金 融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金 (国内銀行)」/貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿 易	輸 出	名古屋税関「管内貿易概況」/名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸 入	同 上/名目輸入額	同 上
物 価	企 業 物 価	日本銀行「企業物価指数」/国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消 費 者 物 価	総務省統計局「消費者物価指数」/名古屋市（総 合）	同 上
区 分	上 昇	横 ばい	下 降

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↗”を表示する。